

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月5日

上場会社名 興研株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 7963 URL http://www.koken-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 宏之 (TEL) 03(5276)1911
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 長坂 利明 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	3,376	△17.1	281	△29.1	223	△27.6	105	△41.6
21年12月期第2四半期	4,072	5.1	396	0.5	308	△8.9	181	△2.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	20	95	—	—
21年12月期第2四半期	35	89	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年12月期第2四半期	15,072		7,727		51.0	1,519	92	
21年12月期	16,330		7,737		47.1	1,522	27	

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 7,687百万円 21年12月期 7,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	—	—	0	00	25	00
22年12月期	—	—	0	00		
22年12月期(予想)			—	—	25	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,900	△2.5	590	△0.6	490	9.3	280	4.4	55	36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 2ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	5,104,003株	21年12月期	5,104,003株
22年12月期 2 Q	46,393株	21年12月期	46,393株
22年12月期 2 Q	5,057,610株	21年12月期 2 Q	5,057,743株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記の予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(第2四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年1月1日～6月30日)のわが国経済は、全般的には回復の兆しが見え始めたものの、安全衛生保護具業界の業績回復を牽引する設備投資や雇用の情勢は依然として厳しい状況で推移しました。

こうした経営環境の中、マスク関連事業部門においては、石綿に関する法改正によって昨年度大きく売上を伸ばした電動ファン付き呼吸用保護具が市場に行き渡ったことから、当期間の主な需要が交換用フィルターのみとなったことによる売上減に加え、産業用マスクの主力顧客である製造業の生産拠点の海外移転等の影響もあり、売上高は30億67百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

環境関連事業部門においては、ホルムアルデヒドの法制化による医療機関での換気装置の駆け込み需要が昨年ピークを向かえたことから、その反動で前年同期間に比べ3億84百万円減少し、売上高は3億8百万円(前年同期比55.9%減)となりました。

なお、当事業部門の将来の核とすべき製品オープンクリーンベンチ・オープンクリーンブース「KOACH(コーチ)」は、販売網の整備と展示会等で数多く寄せられた実地試用の依頼に対応した受注活動を実践するとともに、顧客の様々な要望に応えるため、新製品の投入並びに製品ラインナップの充実を図っている段階であります。

以上の結果、両事業部門を合わせた当第2四半期累計期間の売上高は、33億76百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

利益につきましては、売上高が減少する中、昨年度の感染対策用マスクの緊急増産による高い原価水準が通常に戻ったことに加え、生産効率の向上や販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益2億81百万円(前年同期比29.1%減)、経常利益2億23百万円(前年同期比27.6%減)、四半期純利益1億5百万円(前年同期比41.6%減)となり、期初予想を若干上回りました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は150億72百万円(前事業年度末163億30百万円)となり、12億57百万円減少いたしました。その主な要因は、流動資産が売掛金の減少等により10億55百万円減少し、固定資産が減価償却費の計上等により2億2百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は73億45百万円(前事業年度末85億93百万円)となり、12億47百万円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金が19億円増加した一方、社債が22億円、長期借入金が5億4百万円、未払法人税等が1億82百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は77億27百万円(前事業年度末77億37百万円)となり、9百万円減少し、自己資本比率は51.0%(前事業年度末47.1%)となりました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が20百万円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、12億70百万円(前事業年度末16億66百万円)となり3億95百万円増加いたしました。

各キャッシュフローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億21百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が2億18百万円となったことと売上債権の減少等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は63百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億30百万円と投資有価証券の売却による収入51百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億53百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額19億円、長期借入金の返済による支出5億90百万円及び社債の償還による支出22億円等を行ったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、期初予想と差異が生じたため、予想数値の修正の発表を行いました。詳細については、平成22年7月29日発表の「平成22年12月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

平成22年12月期の通期業績予想につきましては、新分野の営業が今後スタートする予定であります。業績見通しには不確実な要素が多いことから、期初の計画を変更していません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 退職給付費用の算定方法

退職給付費用については、当事業年度に係る退職給付費用の額を期間按分して算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,270,765	1,666,031
受取手形及び売掛金	2,557,818	3,356,639
商品及び製品	614,855	694,807
仕掛品	599,598	323,434
原材料及び貯蔵品	370,326	371,399
繰延税金資産	110,455	171,167
その他	53,831	50,866
貸倒引当金	△3,000	△4,000
流動資産合計	5,574,649	6,630,345
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,432,993	1,467,395
機械及び装置(純額)	1,019,722	1,128,679
土地	5,377,462	5,377,462
その他(純額)	302,489	308,264
有形固定資産合計	8,132,667	8,281,802
無形固定資産	27,394	26,698
投資その他の資産		
投資有価証券	145,288	180,437
繰延税金資産	349,357	371,126
役員に対する保険積立金	768,020	760,149
その他	76,543	81,182
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	1,338,209	1,391,896
固定資産合計	9,498,272	9,700,397
資産合計	15,072,921	16,330,742

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,441	182,666
短期借入金	3,000,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,061,700	1,148,300
1年内償還予定の社債	—	2,200,000
未払金	84,138	131,014
未払法人税等	37,906	220,076
賞与引当金	119,000	187,000
役員賞与引当金	11,000	23,300
製品回収引当金	16,992	37,247
その他	164,868	220,288
流動負債合計	4,717,046	5,449,893
固定負債		
長期借入金	1,755,800	2,259,800
退職給付引当金	445,490	428,316
役員退職慰労引当金	379,200	440,700
その他	47,753	14,438
固定負債合計	2,628,244	3,143,254
負債合計	7,345,290	8,593,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	528,693	528,693
利益剰余金	6,512,494	6,532,981
自己株式	△41,779	△41,779
株主資本合計	7,673,673	7,694,160
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,499	4,900
評価・換算差額等合計	13,499	4,900
新株予約権	40,458	38,533
純資産	7,727,631	7,737,594
負債純資産合計	15,072,921	16,330,742

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,072,480	3,376,727
売上原価	2,185,795	1,773,568
売上総利益	1,886,684	1,603,159
販売費及び一般管理費	1,490,041	1,322,020
営業利益	396,642	281,138
営業外収益		
受取利息	805	286
受取配当金	3,451	1,840
受取手数料	4,363	4,611
雑収入	5,976	6,716
営業外収益合計	14,597	13,455
営業外費用		
支払利息	39,891	39,655
社債利息	11,566	5,158
支払手数料	35,000	—
その他	15,853	26,151
営業外費用合計	102,311	70,964
経常利益	308,928	223,628
特別利益		
保険返戻金	31,947	—
投資有価証券売却益	—	12,422
特別利益合計	31,947	12,422
特別損失		
有形固定資産除却損	2,674	6,590
投資有価証券評価損	6,546	—
投資有価証券売却損	—	10,925
特別損失合計	9,221	17,515
税引前四半期純利益	331,654	218,536
法人税、住民税及び事業税	203,000	36,000
法人税等調整額	△52,874	76,582
法人税等合計	150,125	112,582
四半期純利益	181,529	105,953

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,861,618	1,461,793
売上原価	1,003,853	771,606
売上総利益	857,764	690,186
販売費及び一般管理費	744,326	639,916
営業利益	113,438	50,269
営業外収益		
受取利息	2	32
受取配当金	3,429	1,840
受取手数料	2,222	1,785
雑収入	2,827	2,348
営業外収益合計	8,481	6,008
営業外費用		
支払利息	19,930	21,427
社債利息	5,781	—
その他	10,435	7,655
営業外費用合計	36,148	29,082
経常利益	85,772	27,195
特別損失		
有形固定資産除却損	1,694	1,649
特別損失合計	1,694	1,649
税引前四半期純利益	84,077	25,545
法人税、住民税及び事業税	78,000	7,000
法人税等調整額	△44,455	15,848
法人税等合計	33,544	22,848
四半期純利益	50,533	2,697

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	331,654	218,536
減価償却費	251,046	257,146
有形固定資産除却損	2,674	6,590
投資有価証券評価損益(△は益)	6,546	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	144,711	17,174
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	32,800	△61,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,000	△68,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△12,300
製品回収引当金の増減額(△は減少)	—	△20,255
受取利息	△805	△2,127
受取配当金	△3,451	—
支払利息	39,891	39,655
社債利息	11,566	5,158
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,000
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,497
売上債権の増減額(△は増加)	82,779	798,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△282,209	△195,138
仕入債務の増減額(△は減少)	70,835	38,774
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,024	△39,294
その他	△23,185	12,442
小計	565,830	993,186
利息及び配当金の受取額	4,256	2,127
利息の支払額	△51,344	△50,585
法人税等の支払額	△136,754	△222,967
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,988	721,759

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	51,144
有形固定資産の取得による支出	△154,300	△130,835
有形固定資産の売却による収入	21,444	14,471
無形固定資産の取得による支出	△537	△2,299
長期前払費用の取得による支出	△268	△340
貸付金の回収による収入	700	2,292
貸付けによる支出	—	△1,050
その他	△1,524	3,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,484	△63,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,000	3,000,000
短期借入金の返済による支出	△1,100,000	△1,100,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△607,200	△590,600
社債の償還による支出	—	△2,200,000
配当金の支払額	△125,332	△125,132
その他	△16,213	△38,238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,746	△1,053,970
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	98,756	△395,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,617,654	1,666,031
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,716,411	1,270,765

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別売上高

区分	前第2四半期 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		当第2四半期 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)		比較増減 (△は減) 金額(千円)
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	
防じんマスク	1,989,644	48.9	1,812,047	53.7	△177,597
防毒マスク	604,056	14.8	663,606	19.7	59,550
防じん・防毒マスク関連その他製品	778,450	19.1	592,185	17.5	△186,265
小計	3,372,150	82.8	3,067,838	90.9	△304,310
環境改善工事及び機器	700,329	17.2	308,889	9.1	△391,440
合計	4,072,480	100.0	3,376,727	100.0	△695,753
(上記のうち輸出分)	(163,022)	(4.0)	(164,649)	(4.9)	(△1,627)